

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2022年							2023年										2024年	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12月 ~10日	12月 ~17日	12月 ~24日	12月 ~31日	1月 ~7日
カンピロバクター	99	99	47	48	99	77	32	67	75	49	29	47	43	14	13	12	18	8	0
病原性大腸菌	90	30	53	40	44	45	81	108	102	56	52	49	80	25	25	23	20	8 (1)	2
腸管出血性大腸菌	1	10	2	0	2	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	16	12	12	14	5	3	13	25	6	12	15	6	3	1	3	2	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	22	26	19	13	20	18	11	8	12	15	18	21	18	2	6	5	1	2	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	17	18	15	16	20	14	10	11	11	9	5	9	4	4	3	1	4	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	4	1	5	4	1	2	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	5	7	3	2	2	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第1週(1月1日~1月7日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2			2				
三類	0	発生なし	0							
四類	1	E型肝炎	1							1
五類	4	急性脳炎	1					1		
		梅毒	3	1					2	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

今シーズンのインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の累計は、既に443件報告されており、2010/11シーズン以降では、2015/16シーズンの414件を上回って最多となっています。また、例年、冬休みが終わり学校が始まると流行が拡大する傾向があり、注意が必要です。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

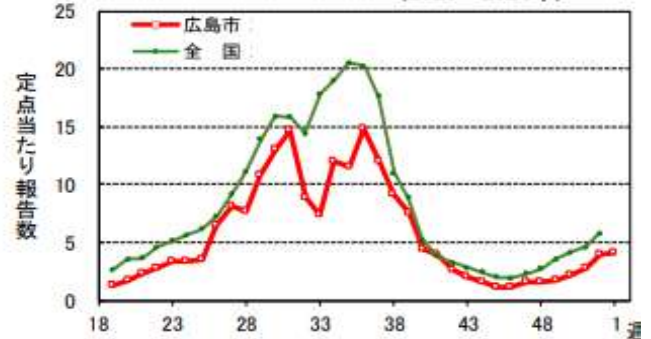
2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

増加傾向が続いています。手洗い、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。また、寒くなると窓を閉め切った屋内で過ごすことが増えるので、「換気の悪い密閉空間」にならないよう、こまめに換気をしましょう。

3 感染性胃腸炎

冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加します。感染性胃腸炎を起こすウイルスは、感染者の便や吐物に多く含まれており、飛沫や人の手などを介して経口感染します。保育園、学校、福祉施設など集団生活の場では、感染が広がりやすく、特に注意が必要です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況 (2023～2024年)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	335	9.31	3.98			小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.12		
	新型コロナ(COVID-19)	148	4.11					流行性耳下腺炎	-	-	0.04		
小児科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.16			眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03		
	咽頭結膜熱	45	1.96	0.13				流行性角結膜炎	14	1.75	0.28		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	1.17	0.50				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	60	2.61	3.99			基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-		
	水痘	7	0.30	0.18				マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.06		
	手足口病	3	0.13	0.37				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.04				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.06		
	突発性発しん	1	0.04	0.11									

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

今週(第1週)は、年末年始の休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、前週(第52週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	急性脳炎	1	1	10歳代